

## 国際会議 The Irago Conferenceの開催

〔エレクトロニクス先端融合研究所 准教授〕 岡田 浩 (おかだ ひろし)

科学技術とひと口に言っても、その中身は広く、物理、機械、化学、ソフトウェア、建築、医学、農業…と色々な分野に分かれています。その一方で、21世紀に生きる私たちが取り組まなければならない問題は、環境、エネルギー、食料、安全／安心な社会の実現などスケールの大きな問題が取りざたされています。こうした問題に取り組むには、科学者、技術者、政策立案者、基礎科学や応用分野など様々な分野の専門家のみならず、次代を担う若い学生・研究者が垣根を越えて集まり、議論することが重要ではないか。本学のエレクトロニクス先端融合研究所(EIIRIS)が主催する国際会議「The Irago Conference」は、“360 degree outlook on critical scientific and technological challenges for a sustainable society”をテーマとして「異分野融合のプラットフォーム」を目指すユニークな会議です。

この国際会議の第1回目は、2011年11月に本学において、アジア太平洋異分野融合研究国際会議 (The Asia-Pacific Interdisciplinary Research Conference 2011)として開催されました。第2回目となる今回は、2012年11月15、16日、学会の名前を「The Irago Conference」に改称し、場所を伊良湖Sea-park & Spaホテルに移して開催します。今回もノーベル賞級の招待講演者を招き、魅力的なテーマについてご講演いただく予定です。バイオ技術、ナノテクノロジーの先端研究やそれらの異分野融合研究、近未来の社会・ビジネスの変革の予測、東日本大震災を受けて、防災、災害予測など、各分野の専門の先生方からご講演を頂きます。また、特別セッションでは、未来に向けた夢のある技術の話題として、“Energy Minimization of Future Mobile System”について議論します。エコな未来の乗り物や社会システムとはどんなものか?、どうやって実現するのか?、この分野を牽引する先生方から直接お話を伺います。このような魅力的な話題を一カ所で聞く事が出来る学会は、世界中を探してもこの国際会議だけ、と自負しています。

さらに、学生セッションでは、国際会議で自分の研究を発表してみたい、という学生の皆さんの論文投稿をお待ちしています。もちろん、一般論文投稿も受け付けます。第1回と同様、発表論文を査読付きの論文誌から出版を企画しています。この他、田原市が取り組む革新的なエネルギー、農業拠点を訪問するエクスカージョンも企画するなど沢山の内容を準備し、皆様の論文投稿、ご参加をお待ちしております。詳細は下記のウェブサイト<sup>①</sup>をご参照ください。

伊良湖と言えば、若き日の民俗学者、柳田國男が伊良湖岬で椰子の実を拾った話にインスピレーションを受けた鳥崎藤村の作詞による有名な歌曲「椰子の実」を生んだ土地です。この学会でも、世界から集まる様々な分野の研究成果や話題が分野を越えて互いを触発し、新たな異分野融合研究に発展していけばと願っています。

※The Irago Conferenceウェブサイト <http://www.apirc.jp/>

### The Irago Conference

The Asia-Pacific Interdisciplinary Research Conference (AP-IRC 2012)

“360 degree outlook on critical scientific and technological challenges for a sustainable society” **NOV 15-16th 2012**  
Irago Sea-Park & Spa Hotel  
Tahara-City, Aichi, Japan

Organized by Electronics-Inspired Interdisciplinary Research Institute (EIIRIS),  
Toyohashi University of Technology, Japan

